

# 高雄だより

臨時特別号

令和7年3月  
京都市立高雄小学校  
校長 坪内 昌子

ひと雨ごとに暖かさが増すこの季節になってまいりました。日頃、本校の学校教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。12月に実施いたしました「令和6年度後期学校評価」の結果をご報告いたします。本校の教育目標「仲間とともに高め合い 未来に向かってたくましく生きる子の育成」に向けて成果と課題を検討し、教育活動の改善等へつなげてまいります。今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

## 確かな学力の育成

わたし(わが子、児童)は、勉強していることがわかっています

	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期 47%	42%	11%	0%
	後期 56%	38%	3%	3%
児童 高	前期 50%	47%	3%	0%
	後期 42%	55%	0%	3%
保護者	前期 15%	75%	11%	0%
	後期 23%	73%	5%	0%

わたしは、友だちと話し合って決めたり決めたことをしたりするのが好きです

	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期 58%	36%	6%	0%
	後期 64%	30%	6%	0%
児童 高	前期 31%	25%	34%	9%
	後期 38%	31%	24%	7%



## 豊かな心の育成

わたしは、学校で楽しくすごしています

	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期 94%	3%	3%	0%
	後期 83%	14%	0%	3%
児童 高	前期 38%	58%	6%	3%
	後期 66%	31%	3%	0%
保護者	前期 69%	31%	0%	0%
	後期 59%	41%	0%	0%

◇「わたし(わが子、児童)は、学校の授業がわかっています。」

低・高学年共に「よくできている」「できている」の回答が90%を超えていました。また、前期に比べて、低学年では「よくできている」の割合が増加しています。このことから、学習への自信がもてるようになった児童が増加しているといえます。本校では、低学年には学習支援の教員を配置し、きめ細やかな見取りと支援を大切にしています。高学年では、専科教員が専門性を発揮しながら授業をしています。また、授業による学力の向上に加えて帯時間(ぐんぐんタイム)での基礎学力の定着をめざしています。一人一人の家庭学習を担任が点検し、頑張りへのコメントを加えるなどして日々の学びを見守り支えています。これからも引き続き細やかな指導を目指し、「勉強していることが分からない」と感じている児童に対しては、より手厚く個別に支援していきます。

◇「わたしは、友だちと話し合って決めたり決めたことをしたりするのが好きです」

前期に比べて低学年、高学年共に「よくできている」と回答した児童が増えています。また、高学年は、「よくできている」「できている」と回答した児童が13%増えました。12月に6年生は「自分たちが学校のために何かできないか」を学級会で話し合い、ちびっこ広場にみんなが楽しくなるような壁絵を制作しました。そして、他学年にお披露目会を開いて下級生に楽しんでもらいました。6年生だけでなく今年度は、他学年を招待して一緒に活動を楽しむ会を開いた学年が多く見られました。このことは、企画し実行することによる達成感に加えて、他学年の児童や教職員から「ありがとう」や「楽しかった」などの言葉をかけてもらったことで自己肯定感を高めることにつながりました。話し合って何かを決めることが良さを感じ話し合いへの意欲に繋がっていると思われます。これからも、他学年とのかかわりを増やしながら対話的で実践的な活動を充実させていきたいと思っています。

◇「わたし(わが子、児童)は、学校で楽しくすごしています」

後期は、低・高学年共に97%の児童が「よくできている」「できている」と回答しています。また、保護者からは前・後期とも100%が「よくできている」「できている」と回答いただき学校生活に対する安心感をもっていただいています。これで分かります。

しかし、低学年では「できていない」と回答した児童が3%、高学年では「あまりできていない」と回答した児童が3%いました。高学年は、全体的には前期から改善はしているものの学校で楽しくすごせないと感じている児童がいることを真摯に受け止めています。細やかな見取りと一人一人が認められ活躍できるような学級経営を目指します。

わたしは、言葉づかいに気をつけています

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	58%	22%	6%	8%
	後期	36%	44%	6%	14%
児童 高	前期	34%	53%	13%	0%
	後期	24%	59%	17%	0%
保護者	前期	22%	64%	15%	0%
	後期	25%	61%	14%	0%

わたしは、高学年の人へ優しくしてもらっています(低学年)

わたしは、集団登校や縦割り活動で低学年をリードしています  
(高学年)

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	78%	17%	0%	6%
	後期	64%	33%	3%	0%
児童 高	前期	59%	31%	6%	3%
	後期	49%	41%	0%	10%

◇「わたしは、言葉づかいに気をつけています」

前期に比べて「できていない」「あまりできていない」という回答が低学年は、14%から20%。高学年では、13%から17%に増加しました。上級生や友達を呼び捨てにしたり、教員との会話の中でも場面に合った言葉づかいができなかつたりする実態があります。このことは、学年を超えた子どもたちの仲の良さや教職員との距離の近さによる気安さからくる「相手や場に応じた言葉づかいへの意識の低下が原因のように思われます。学校は、相手や場に応じた言葉づかいや振る舞いを学ぶ場でもあります。教員が場に応じたけじめのある態度の模範を示したり、学校の中でも、改まった行動を意識できる場面を設定したりして、けじめのある態度や言葉づかいを身に付けられるようにします。

◇「わたしは、高学年の人へ優しくしてもらっています(低学年)

わたしは、集団登校や縦割り活動で低学年をリードしています(高学年)

前後期とも高学年では90%以上が「よくできている」「できている」と回答しています。本校では、縦割り活動や集団登校で上級生がリーダーシップをとれる場を設定しています。また、学級会での企画や体育での複数学年で活動を行うことで下級生を思いやる気持ちが育っています。その活動によって後期の低学年では、95%以上の児童が高学年の人へやさしくしてもらっていると回答していると思われます。高学年は、リーダーシップを発揮し、低学年は、その姿にあこがれ引き継いでいこうとする互いに高め合う関係を築けるよう支援していきます。

健やかな体の育成

わたしは、早寝・早起きをして朝ごはんを食べています。  
わたしは、早寝・早起きをして朝ごはんを食べるよう働きかけている(保護者)

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	58%	33%	3%	6%
	後期	42%	42%	8%	8%
児童 高	前期	72%	25%	3%	0%
	後期	59%	31%	10%	0%
保護者	前期	51%	44%	4%	2%
	後期	43%	48%	7%	2%

◇「わたしは、早寝・早起きをして朝ごはんを食べています。」

前期に比べて「できていない」「あまりできていない」という回答が低学年は、9%から16%。高学年では、3%から10%に増加しました。また、低・高学年共に「よくできている」と回答した児童が減少していることから1学期よりも2学期は、生活リズムが崩れている傾向にあることが分かります。保護者による働きかけも同様の傾向にあります。長期休みの後に行っている「生活リズム調べ」においても学年が上がるごとに、また、学期が進むごとに就寝時間が遅くなる傾向にあります。これは、ゲームや動画を見る時間と相関があると考えられます。学校でも定期的に生活リズムを振り返り、目や心の健康と結びいつけてメディアとの好ましい付き合い方を考えています。先日、学校より「家庭でメディア機器との付き合い方を考えよう」という案内を配信しました。家庭でのルール作りなどお家と協力しながら健康的で好ましい生活習慣を身に付けられるよう粘り強く取り組んでいきます。

わたしは、外で遊んだり、体を動かしたりしています

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	83%	17%	0%	0%
	後期	81%	17%	3%	0%
児童 高	前期	59%	28%	6%	6%
	後期	59%	32%	6%	3%

◇「わたしは、外で遊んだり、体を動かしたりしています」

低学年、高学年ともに90%以上が「よくできている」「できている」と回答しています。実際に、中間休みや昼休みには、教師も交え、学年を超えて遊び姿が見られます。高学年がリーダーシップを発揮し全校遊びを実施したり、学年ごとにクラス遊びをしたりするなど様々な人間関係を築く場になっています。教員も遊びの中に入りにいく児童を引き入れるなどすることで子どもたちの人間関係を円滑にし、関係をより近くで見守っています。外遊びは、子どもたちの体力づくりにも良い影響を与えています。これからも積極的に外遊びや体力づくりを進めていきます。